

平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	卒業研究 (Graduation Thesis)		授業コード	C109934
担当教員名	伊藤 研		科目ナンバリングコード	P41703
配当学年	4	開講期	通期	
必修・選択区分	必修	単位数	6	
履修上の注意または履修条件	これまでの修得単位数が100単位を超えていることが、唯一の条件です。			
受講心得	<p>自らがテーマを見出し、そのテーマを実現するためにさまざまな表現にチャレンジしてもらいます。</p> <p>このとき、必ず「誰に」、「何を」、「どのように伝えるのか」という表現の方向性を明確にする必要があります。そのためには、常に考え続ける姿勢が求められます。</p> <p>みなさんの奮起を期待します。</p>			
教科書	特定の教科書は指定しませんが、チャレンジしてみたい表現に関するすべての図書およびWeb上の情報、各種の映像作品等のすべてが「教科書」に該当します。			
参考文献及び指定図書	特定の参考文献や図書は指定しませんが、チャレンジしてみたい表現に関するすべての図書およびWeb上の情報、各種の映像作品等のすべてが「参考文献や図書」に該当します。			
関連科目	これまでに学習した表現に関するすべての科目。特に、情報デザイン1、情報デザイン2、映像			

授業の目的	<p>学生がもっとも興味を抱く専門領域の研究室に所属し、担当教員の指導や助言を受けながら、特定の研究テーマに沿った研究活動を行います。具体的には、①研究テーマの設定、②予備調査(文献検索、調査、資料収集など)、③研究(設計、実験、解析、開発、制作など)、といった段階を踏みながら卒業研究を進めていきます。原則として、情報メディア技術コースでは情報機器・システムの開発を、情報メディア表現コースではデジタル・コンテンツの制作を行うこととなります。研究内容は卒業論文・卒業制作としてまとめ、学科の研究発表会にて発表を行い、教員による審査を受けます。</p>
授業の概要	<p>この授業は、みなさんが大学教育の中でチャレンジする最後のプロジェクト型授業です。</p> <p>まず、自らの力でテーマを考え出し、そのテーマを作品化するためのすべてのステップ＝具体的には、資料や情報の収集から整理・分析、企画と構成、スタッフ構成、シナリオ作成、全関係者への連絡を含む制作準備、撮影、編集、マルチオーディオ＝を立案してもらいます。</p> <p>そして、自らがスケジュール管理を行いながら、ステップを1段階ずつ完遂してもらいます。そして最終的には、設定したテーマを表現するために最もふさわしい表現方法を組み合わせ、作品として完成させってもらいます。</p> <p>この間私は指導教員として、すべてのステップの成果物をチェックしてアドバイスします。みなさんは、受け取ったアドバイスを参考に考え抜き、自らが決断を繰り返しながら「オリジナル」作品を完成させます。</p>

○授業計画	
学修内容(以下は卒業研究として映像制作を行う場合の内容を示している)	学修課題(予習・復習)
第1段階：制作および研究方向の確認 制作、あるいは研究の方向性を指導教員に提示する。そして内容に応じてアドバイス、あるいは修正指示を受け、方向性を絞る。	これまで学んできた関連項目
第2段階：資料および情報の収集 テーマ実現のために必要と考えられる資料や情報を収集して提示し、指導教員の確認・指導を受ける。	これまで学んできた関連項目
第3段階：情報の整理・分析 収集した情報を選抜・精選して整理し、テーマ実現のために活用できるかどうかの判断をしたうえで指導教員に提示し、確認・指導を受ける。	これまで学んできた関連項目
第4段階：企画立案およびプレゼンテーション 誰に、何を、どのように伝えたいのかについて研究室内でプレゼンテーションを行い、同級生および指導教員の助言を受ける。	これまで学んできた関連項目
第5段階：構成案作成およびチェック受け 企画案にOKが出たら構成案を作成して提示し、指導教員の確認・指導を受ける。	これまで学んできた関連項目
第6段階：スタッフ構成およびチェック受け	

企画案にOKが出た段階でスタッフ構成を提示し、指導教員の確認・指導を受ける。	これまで学んできた関連項目	
第7段階：シナリオ作成およびチェック受け 構成案にOKが出たらシナリオ案を作成して提示し、指導教員の確認・指導を受ける。	これまで学んできた関連項目	
第8段階：絵コンテ作成およびチェック受け シナリオ案にOKが出たら絵コンテを作成して提示し、指導教員の確認・指導を受ける。	これまで学んできた関連項目	
第9段階：撮影準備 全関係者への連絡を含めて、撮影の準備を整え、指導教員の確認・指導を受ける。	これまで学んできた関連項目	
第10段階：撮影および提示資料(CGデータ等)作成 シナリオおよび絵コンテに従って撮影、およびCGデータ等の提示資料を作成し、指導教員の確認・指導を受ける。	これまで学んできた関連項目	
第11段階：粗編集 シナリオおよび絵コンテに従って、予定上映時間に近い長さになるように素材を編集する。このとき、ナレーション案も仮ナレーションとして加える。	これまで学んできた関連項目	
第12段階：粗編集チェック受け 粗編集データを指導教員に提示して、映像構成およびナレーションについて細かい指導を受ける。	これまで学んできた関連項目	
第13段階：本編集 指導教員のアドバイスに従って、映像構成を修正しながら予定上映時間に収める編集を行う。	これまで学んできた関連項目	
第14段階：マルチ・オーディオ 指導教員立会いの下で、ナレーションの収録およびサウンド(サウンドエフェクト、ミュージックエフェクト、音楽など)の選択および、タイムライン上での編集を行う。	これまで学んできた関連項目	
第15段階：最終仕上げ 映像およびサウンドトラックの最終調整。終了後、指導教員の確認・指導を受ける。	これまで学んできた関連項目	
第16段階：制作ノートの作成 テーマの発見から映像作品の完成までの経過や、新たにチャレンジした内容・方法などを、論文形式にまとめて提示し、指導教員の確認・指導を受ける。	これまで学んできた関連項目	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	自らテーマを発見し、それに何らかの形を与えて表現することに、真剣に向き合うことができる。
【知識・理解】	自らが設定した対象に対して、発見したテーマについて、完全に理解し、情報として正確に発信することができる。
【技能・表現・コミュニケーション】	発見したテーマを、特定の対象に正確に伝えるための表現を考え出すことができる。
【思考・判断・創造】	①テーマに対する自らの考え方を、特定の対象に正確に伝えることができる。 ②さまざまな「モノ・コト」を、特定の対象に正確に紹介することができる。 ③情報の伝達や紹介に当たっては、これまで学んできた知識を活用して、さまざまな表現技法や技術を効果的に組み合わせることができる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点	10点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		30点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		30点		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		20点		
(「人間力」について) ※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
発表・その他(無形成果)	